眼科医の先生方へ

この度、高知県眼科医会では患者さん向けロービジョンケア紹介リーフレットの改訂版「高知家のいっぽ」を作成いたしました。これはロービジョン患者（低視力や視野狭窄のために、屈折矯正をおこなっても見えづらさが残る方）が、それぞれの悩みに応じた適切な情報が得られるように、高知県内の相談先を紹介するものです。

リーフレットに記載されている項目に対して、下記のような手段があります。

|  |
| --- |
| ・読みたい・書きたい　　　　　　　　→　眼鏡処方、ルーペ、拡大読書器、音声図書  ・まぶしさをなんとかしたい　　　　　→　遮光眼鏡  ・安全に歩きたい　　　　　　　　　　→　白杖、歩行訓練、同行援護制度、盲導犬  ・運動不足を解消したい　　　　　　　→　障がい者スポーツなど  ・仕事を続けたい　　　　　　　　　　→　職場の環境調整  ・学校、仕事の相談をしたい　　　　　→　教育相談、就労支援  ・子供の見え方の相談をしたい　　　　→　教育相談など  ・便利な機器、生活の工夫を知りたい　→　便利機器、福祉機器、日常生活訓練  ・調べたい、情報を知りたい　　　　　→　声と点字の図書館、音声パソコン、パソコン教室 |

利用の手順

1. **適切な眼鏡処方（遠用・近用）**

**視力矯正することで（矯正視力が変わらなくても）ピントがあいやすくなり、ルーペや**

**拡大読書器で拡大したときに見えやすくなります。**

1. **医療機関記入欄（表面）への記入**

視機能（視力、視野）と屈折矯正の状態（所持眼鏡の種類）

※　個人情報となりますが、視機能を伝えることで、紹介先は患者さんに必要なケアを推測する

ことができます。上記をご説明いただき、記入することへの了承を頂いて下さい。

1. **リーフレットに掲載されている施設につながるようにお声がけ下さい。**

相談を受けた４施設では、患者さんが利用可能なサービス、施設、機関などの情報をご紹介します。

**※遮光眼鏡、ルーペ処方は、ロービジョンケアを行っている眼科（添付文書に記載）に直接ご紹介ください。**

このような方にリーフレットをお渡しください。

・矯正視力が両眼とも０.４以下　　　　　　 　・眼鏡をかけても読み書きに不自由がある

・視野が狭い、歩行に困難を伴う　　　　　　 ・まぶしくて困る

・生活や仕事、学業に支障がある　　　　　　 ・子どもの見え方で困っている親御さん

高知県の視覚障害に関する情報（添付文書）は、今後も随時更新してまいります。

情報はこちらからもご覧いただけます。（<http://machida-hp.com/low_vision>）

眼科医療機関の皆様からこのリーフレットを当事者の方にお渡しいただくことで、多くの視覚障がい者の

方に必要な情報が届けられることを切に願っております。

平成31年4月1日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　高知県眼科医会